かがみいし
議会だより

No.167
平成30年２月
発行　福島県鏡石町議会
編集　議会広報編集委員会
〒969−0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼345
電話0248(62)２110
印刷　㈲永山印刷



新成人　決意新たに

大人としての自覚を新たにし、人生の大きな節目を迎えられた新成人の皆さんの門出を祝う「成人式」が１月７日(日)公民館において開催されました。
（写真は「成人式運営委員会」の皆さん）

目　次

第10回12月定例議会 …… ２ページ
審議の結果 …… ２・３ページ
一般質問 …… ４〜10ページ
各常任委員会所管事務調査 … 11ページ
町民の声 …… 12ページ



平成28年10月に開催された「子ども議会」の一コマ

町民の声

子供たちが活躍できる場の提供を

鏡田区　熊倉　正麿



熊倉正麿（くまくらしょうま）さん

今回、鏡石町議会へ発言の機会を頂いたので、漠然と更には町制に明るくない私ですが、一言申し上げます。

私は、子供たちが活躍する場をたくさん提供してほしいと願っています。子供たちが熱中するもの、得意とするものは様々です。それが今後の人生にどれだけ役立つのかは未知数ですが、熱中すること、興味を持ち、取り組むことは、今後、必ず役立つと思っています。更に、多くの人たちの前で成果のお披露目、ほめられる機会があれば、なお良いと思っています。それは、子供たちに喜びと、自信を与えると思うのです。子供たちが活気にあふれ、いきいきとしている姿は、大人にも必ず良い影響を与え、両親、祖父母親戚、縁者と拡がり、やがて、町にも大きな影響を与える可能性までもあるのではないでしょうか。

そして、子供を様々なことに関わらせることは、町の特色となり、町の活性化にもつながるのではないかとも思っています。新たに何かを始めてもいいし、今あるものに子供部門を設けてもいいかと思います。あやめ祭りの写真コンテストにモデルも撮影者も子供限定部門を設けるなんてのも楽しそうです。今のは、ただの思い付きですが、様々な場面に子供が関わり活躍する町になったら素敵だと思うのです。

議会への発言として適したものなのか分かりませんが、私が思うところを述べさせて頂きました。まずは、手始めに、今回の私のように鏡石町議会へ、ここで述べる機会を子供たちに与えてみるのもいかもしれません。

「町民の声」にこたえて



総務文教常任委員会調査・フェンス金網落下状況

前号の町民の声で、鳥見山野球場のグラウンド周囲のフェンスの支柱からの金網が落下している箇所があり、非常に危険な状態であること、また、グラウンドの状態も非常に悪いなど現状を改善してほしい旨の要望が寄せられたため、総務文教常任委員会では、12月14日（木）所管事務調査で議題として取り上げ、鳥見山野球場の状況を現地調査しました。

議会として、早期改修について要望して参ります。

編集後記

昨年は、政治的に様々な不祥事がありました。

「モリ・カケ」問題では、毎日総理大臣夫婦が問題視され、国会議員は不倫スキャンダル、地方議員も様々な不祥事がありました。

そんな中で行われた解散総選挙では、自民党「危うし」と言われながら、毎日マスコミに取上げられていた小池東京都知事が「排除」と言う一言で、野党は惨敗、自民党の大勝で終わり、それ以降小池知事はテレビには出なくなりました。「出る杭は打たれる」と言いますがその通りだと思います。

今年は、そんな事を国会で議論しないで国政・外交を本腰を入れて議論してもらいたいと思います。我々も町民の負託にこたえ、議員として恥じない行動をとっていきたいと思います。

発行責任者
議長　渡辺　定己
広報編集委員会
委員長　小林　政次
副委員長　木原　秀男
委員　古川　文雄
委員　菊地　洋
委員　長田　守弘
委員　畑　幸一